

チューリップ 四季だより

未来へのしあわせ運ぶ 愛の花

砺波市合併10周年記念事業

2014 となみ チューリップ フェア

2014 Tonami Tulip Fair

4月23日(水)～5月6日(火・振休)

砺波チューリップ公園(富山県砺波市花園町)

8:30am～5:30pm 天候などの影響により会期・時間を変更する場合があります。

富山県 砺波市

砺波市 1929-1948 富山県砺波市役所 TEL:0763/33-1111 <http://www.city.tonami.tokai.jp>

砺波市花と緑の財団 1929-1981 富山県砺波市花と緑の財団 TEL:0763/33-7716 <http://www.tulipgate.or.jp>

砺波市観光協会 1929-1988 富山県砺波市観光協会 TEL:0763/33-7006 <http://www.tonami-kankou.or.jp>

2013
Vol.61

- 2014となみチューリップフェアポスターデザインコンセプト
- ①「愛の花＝チューリップ」を多く表現することで、愛に満ち溢れたイベントであることを強調
 - ②「愛の告白」の花言葉を持つ「赤い」チューリップをメインとした会場づくりをアピール
 - ③「空高く舞い上がる気球」は63回目を迎えるチューリップフェアが、また、合併10周年を迎える砺波市が、今後未来に向かって益々発展するとともに、全国にチューリップで「愛」や「幸せ」を届けたいという思い。

随想 チューリップとの出会い

天野 正之

「えっ！ 富山県ですか？」

教授室に呼ばれ教授から就職先を告げられて、あまりの驚きでつい発してしまいました。

当時私は北海道大学農学部大学院博士課程でバラの研究を続けていました。博士論文もほぼ仕上がり、これこそ我がライフワークのテーマだと決めていたのですが、富山県へ行くということはチューリップの研究に変更するということでした。

「実はこう云う手紙が来ているので読んでみなさい」と何となく不服そうな態度をしている私



に教授から封筒が手渡されました。富山県農業試験場砺波園芸分場の分場長さんから教授宛てに送られてきた手紙には、チューリップの研究員に欠員ができたので、私を派遣して欲しいといった内容が書かれていました。その分場長さんは、同じ教室の大先輩で、毎年東京で開催される園芸学会ではいつも優れたチューリップの研究を発表していた大変尊敬している方でした。

「君には奥さんも居るし1週間猶予を与えるので良く相談して返事をしなさい」という教授の言葉でしたが、「はい、行きます！」と即答してしまいました。

あの大先輩からの名指しでは断るわけには到底いかなさうと観念した瞬間でした。赴任したのは1973年8月、お盆の最中の暑い日でした。

城端線の砺波駅で降りてタクシーで試験場と言えば分かるから、と教えられたとおり車に乗りました。やがて着いたのは、古ぼけた木造平屋の納屋のような建物の前でした。ここは違うと思い「運転手さん、試験場へお願いします」と言いかけた時、木造小屋の奥から分場長の大先輩が出てきました。

「おー、よく来たなあー」と笑顔で歓迎してくれました。大先輩が学会であれだけ立派な研究成果を発表してきた研究機関なのだから、それなりの研究施設だろうと想像していたので、ただただビックリするばかりでした。1台しかないという実験台は穴ボコで本場からもらってきたお古とのことでした。なぜかその夜は布団に入ってから涙が止まりませんでした。



それから9年間、チューリップの研究と研究環境の改善に必死で取り組むことになりました。国際学会に数回発表したり、中沖知事に直訴して分場を試験場に昇格し新試験場を建てたり、子供が3人出来たり、それなりの成果をあげることもできました。

1982年に農水省に呼ばれて富山県を離れることになりましたが、今思うとチューリップとの出会いと砺波で苦労しながら学んだことが、その後の自分の将来に大きく役立つこととなりました。

プロフィール 天野 正之



- 1942年 札幌生まれの小樽育ち、北海道大学院大学博士課程を修了、農学博士(バラの研究)。
- 1973年 富山県農業試験場・砺波園芸分場の研究員(チューリップの研究)。
- 1982年 農林水産省野菜・茶業試験場の花き研究室長(キク、カーネーションの研究)、生理生態部長、花き部長を経て場長。
- 1999年 (株)カネコ種苗の技術顧問(花き育種部門の新設)。
- 2007年 退職し、英国王立園芸協会日本支部の理事や各種園芸学校の講師などで園芸の啓蒙活動。
- 2012年 瑞宝小受賞 叙勲。

秋季特別企画展

第12回となみチューリップ

球根まつり

平成25年10月11日～10月14日

チューリップ球根の産地として、丹精込めて育てた球根を生産者自らが販売することで、チューリップの魅力直接向消費者にお届けしたいと始まったこのイベントも今年で12回目を迎えました。

今年も会場内の球根が全て2割引きで販売され、初日から品切れの品種が出るほどの盛況ぶりです。4日間で二万五千人の来場があり、チューリップの特徴や栽培のコツなどチューリップ栽培のプロとの会話を楽しむ来場者の姿も見られました。

期間中は毎日、寄せ植え体験を実施しました。参加者は球根の植え方やプランターの置き場所、水の管理についてなど、綺麗な花を咲かせるための秘訣を熱心に聞き入り寄せ植えを体験していました。

また、四季彩館の外では子供達に大人気の水上遊具や美味しいメニューがいっぱいの移動販売車などがあり、家族の笑顔があふれる4日間でした。



第3回ハンギングバスケットコンテスト結果発表

9月29日に参加者は講習を受けた後、10株の苗を使ってハンギングバスケットを作成。10月15日に審査を行い受賞作品を決定しました。



【日本ハンギングバスケット協会理事長賞】
大蔵 昌子



【最優秀賞】
泉 千恵子



【優秀賞】 松岡外喜子



【優秀賞】 西村 満代



【優秀賞】
滋野百合子



【優秀賞】
絹谷恵津子



【優秀賞】
丸池千代子

2014となみチューリップフェア最新情報

2014となみチューリップフェアは、2014年4月23日(水)から5月6日(火振休)までの14日間、砺波チューリップ公園を中心に開催されます。色鮮やかな600品種250万本のチューリップが来場者をお迎えいたします。

球根生産地だからこそ可能な600品種の花壇は、今回一番のおすすめです。また、会場内は「未来への しあわせ運ぶ 愛の花」をテーマに様々な思考を凝らした演出がいっぱいです。

その中でも注目なのは、近年「鯉恋の宮」「チャペル」を設置して好評だった「愛のパワースポット花壇」。今回はチューリップを使って相合傘ならぬ「愛」合傘を演出します。ぜひお楽しみに!!



11月30日、四季彩館ガーデナーさんの協力を得て、「愛のパワースポット花壇」の植え込みをしました。

2014となみチューリップフェアに協力していただける方を募集しています

☆申込み期限☆

平成26年1月28日(火)

① チューリップ花びら染め体験スタッフ

3回の講習でチューリップの花びらから染液を作り、絹のハンカチを染める手順を学びます。活動はチューリップフェアの期間中、5月4～6日の間で2回ほど体験コーナーの運営に協力していただきます。

② 花の手入れ (チューリップ四季彩館ガーデナー)

3月16日にハンギングバスケットづくりの実技講習を行います。フェア期間中には2時間程度の活動を2回、ハンギングバスケット等会場内の花の手入れに協力していただきます。チューリップフェア終了後は月に2回程度活動の日を設け、チューリップ四季彩館やチューリップ公園で寄せ植えづくりや花の手入れ等を行います。

チューリップ四季彩館 冬のみどころ

常設展示



花で描く北欧の四季 北欧の冬

とき 12月27日(金)～2月18日(火)

ところ チューリップテラス

プリムラ、ハボタン、ヒアシンスを中心とした展示を行います。

2013年の展示の様子

富山県花総合センター

展示案内&
講座受講生
募集中!

季節展示

お正月－縁起植物・ハボタン－
期間：平成26年1月4日(土)～1月27日(月)
場所：本館展示ホール

11品種約250株のハボタンや、センリョウ、マンリョウでお正月を彩ります。

オープン講座

フラワーアレンジメント

「チューリップのいろいろ」

日程：平成26年2月1日(土) 午後1時30分
教材費：1,500円

*1月4日(土)から受付開始。定員になり次第締め切ります。



チューリップ四季彩館
TONAMI TULIP GALLERY

(公財)砺波市花と緑の財団 〒939-1381 富山県砺波市中村100番地1
TEL (0763) 33-7716 FAX (0763) 33-0090
http://www.tulipfair.or.jp/

チューリップ四季彩館

検索

2013年12月25日発行

